



# 消化管チーム紹介

# 消化管チームの診療

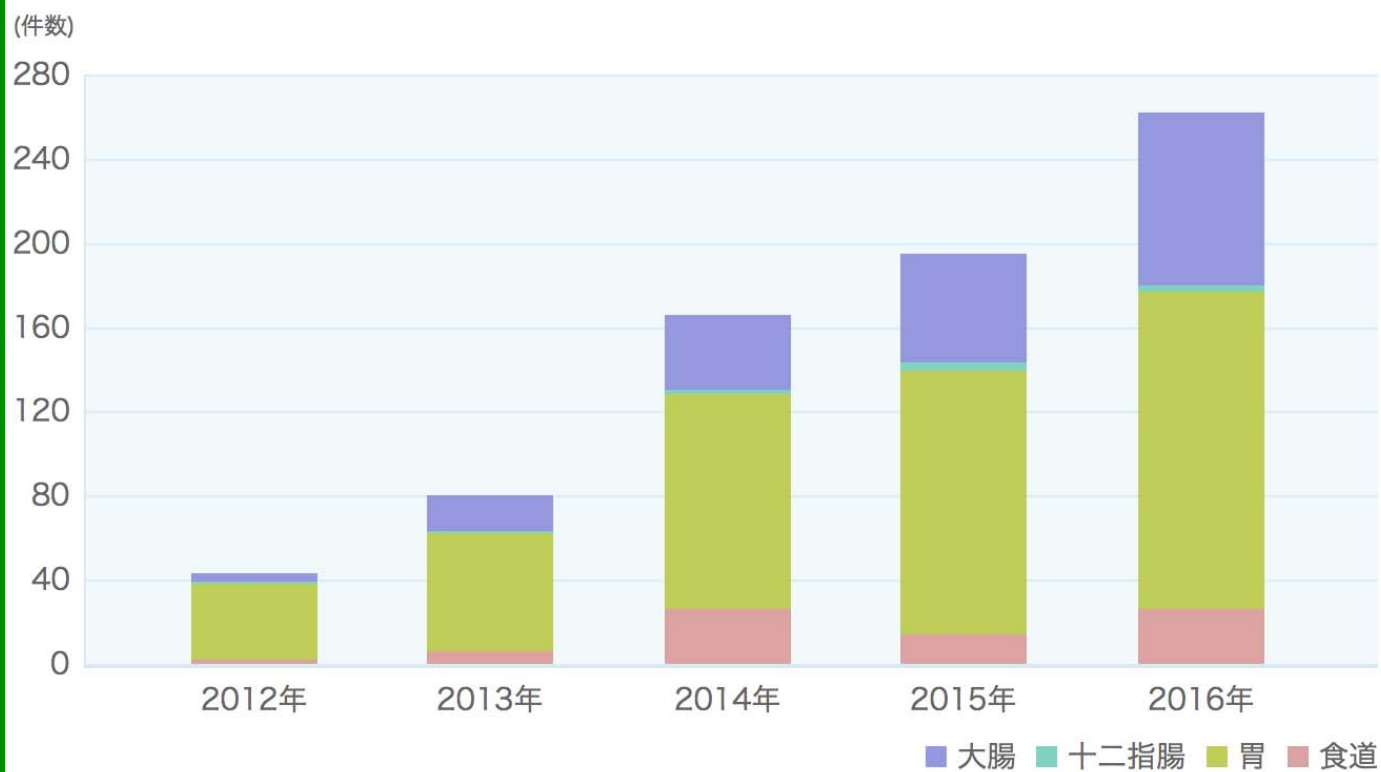
- 上部/下部内視鏡
- 内視鏡治療
- IBD診療
- 消化管化学療法
- 機能性疾患など良性疾患の治療

現在3人の消化管スタッフに加え専修医、  
胆膵チームと協力しつつ上記診療にあたっている

# 治療実績(2017年度)

|                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 上部内視鏡検査                  | 9053件           |
| 下部内視鏡検査                  | 4654件           |
| ポリープ切除術<br>(ポリペクトミー/EMR) | 1379件           |
| ESD                      | 213件(うちLECS 1件) |
| 内視鏡的止血術                  | 357件            |
| ステント留置術                  | 食道・胃:2件,大腸:20件  |
| IBD患者                    | UC:81例,CD:10例   |

## 当院のESD症例



|      | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 食道   | 2     | 6     | 26    | 14    | 26    |
| 胃    | 36    | 56    | 102   | 125   | 151   |
| 十二指腸 | 1     | 1     | 2     | 4     | 3     |
| 大腸   | 4     | 17    | 36    | 52    | 82    |
| 計    | 43    | 80    | 166   | 195   | 262   |

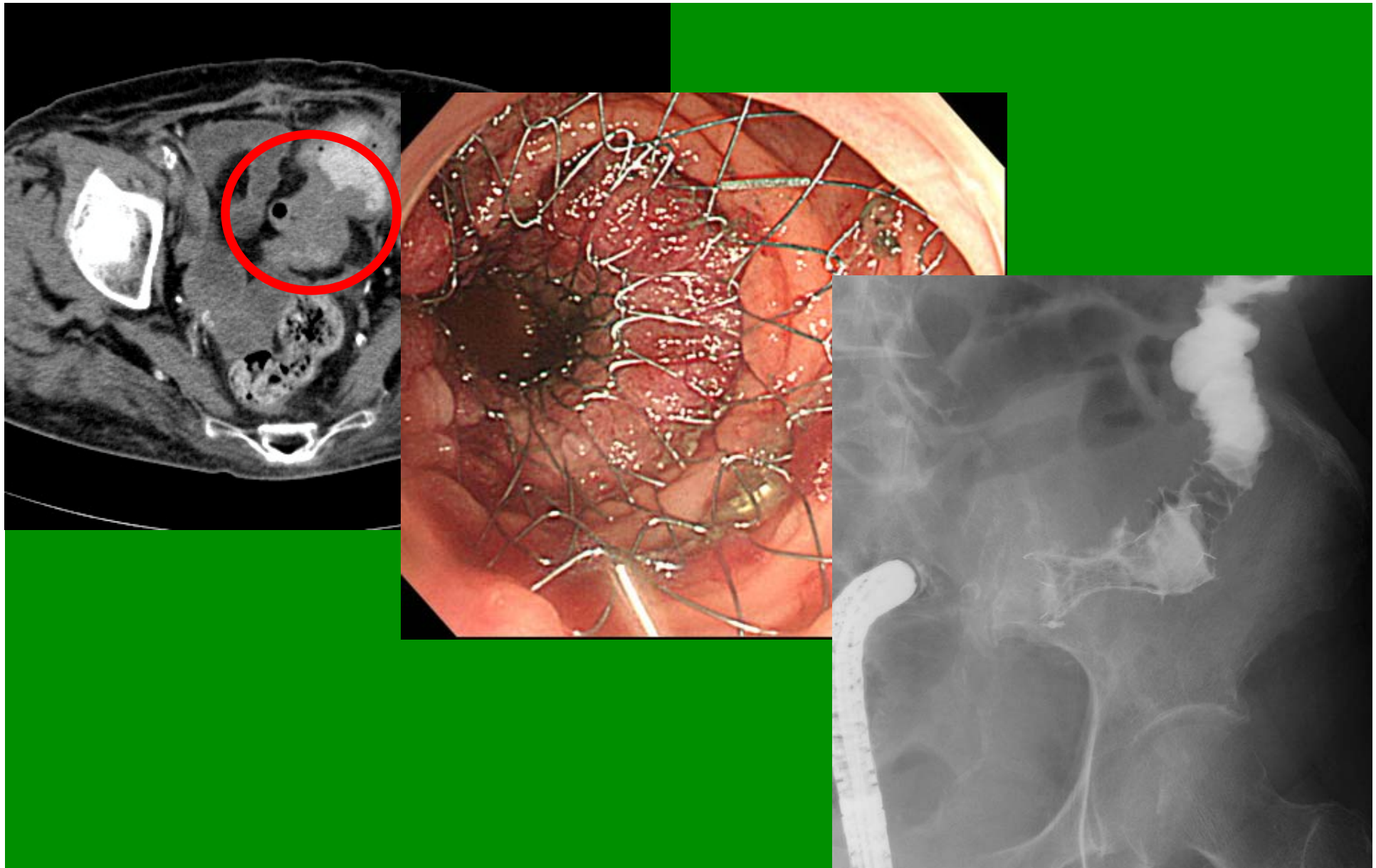


- ✓当院は年間13000台を超える救急車が搬送される急性期病院であり、緊急内視鏡を必要とする症例も多く、消化管出血だけでなく異物除去や狭窄の解除などさまざまな症例を数多く経験できる。



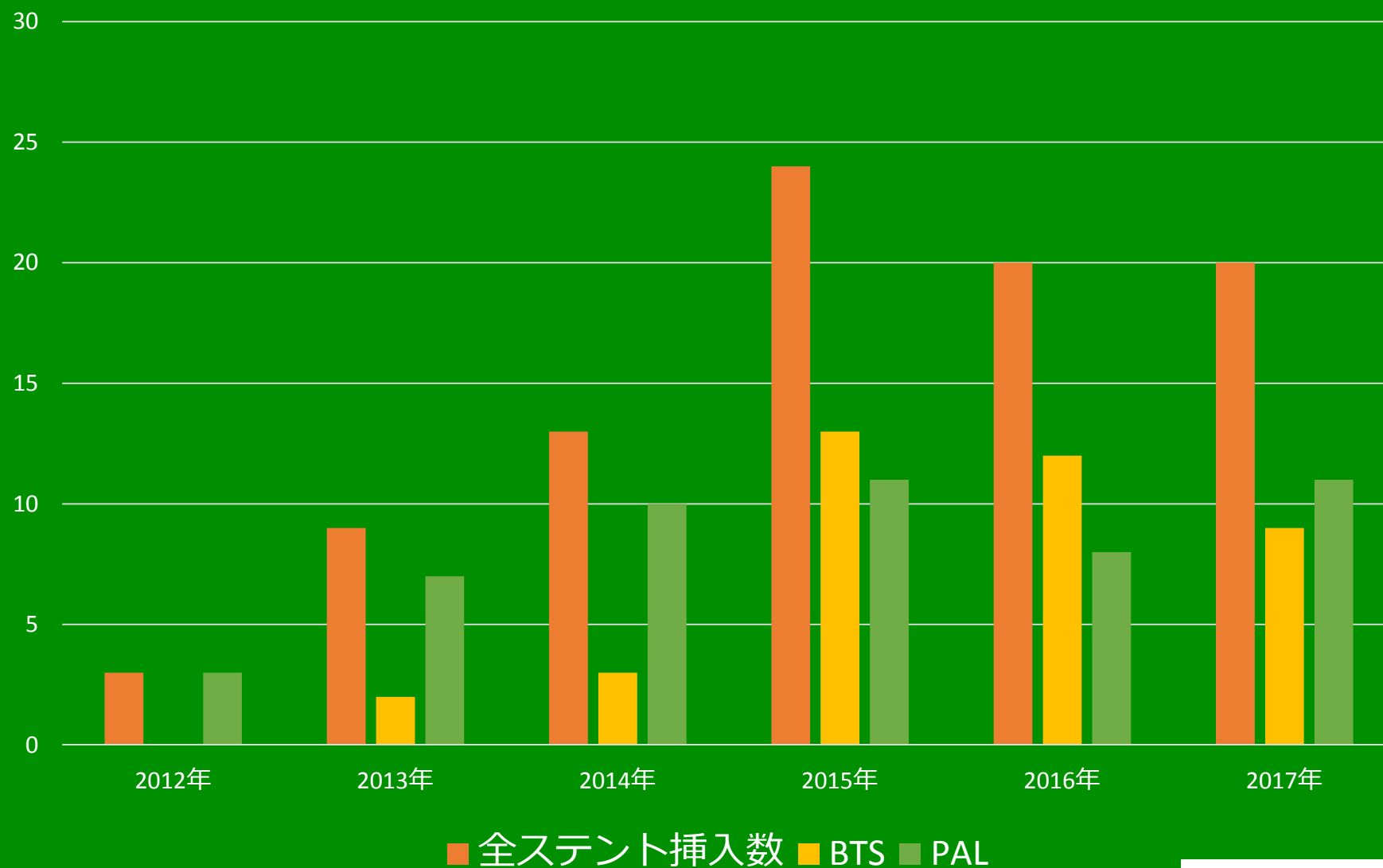


- 救急外来(ER)に緊急内視鏡専用の処置室を設けている。
- 休日夜間も必ず指導医と2人体制で、24時間365日緊急内視鏡に対応している。



大腸ステント含め消化管ステントも積極的に施行している

# 大腸ステント挿入件数





# 現消化管スタッフ(A)の 後期研修ローテーション例

# 後期研修3年間の流れ

|     | 4   | 5 | 6 | 7     | 8 | 9     | 10   | 11 | 12  | 1            | 2   | 3 |
|-----|-----|---|---|-------|---|-------|------|----|-----|--------------|-----|---|
| 3年目 | 消化管 |   |   | 離島:奄美 |   |       | 肝・胆膵 |    |     | 消化管<br>ESD開始 |     |   |
| 4年目 | 消化管 |   |   | IVR   |   | 消化管   |      |    |     | IBD<br>研修    | 消化管 |   |
| 5年目 | 消化管 |   |   | 内科    |   | 内科チーフ |      |    | 消化管 |              |     |   |

# 後期3年間の症例まとめ

- 上部/下部内視鏡 上部:約1500,下部:約1000/12か月(消化管ローテ中に限る)
- ERCP 130件(first touch100件)/3か月
- ESD 49件/12か月 76件/18か月
- オンコール緊急内視鏡 91件/12か月
- IBD 外来フォロー中 約15人
- 化学療法 新規導入化学療法 1-2人/年
- 小腸内視鏡 月1例程度 (主に止血目的)

# 初期・後期研修期間中の学会発表

- A case of overt ongoing small intestinal bleeding after TAE. (2016年11月 アジア太平洋消化器週間 (APDW2016) 神戸)
- 悪性大腸閉塞に対する治療戦略. . (2016年10月 消化器湘南フォーラム)
- 食道狭窄をきたした急性食道粘膜病変(AEML)の1例と当院におけるAEMLの検討. (2016年7月 南関東フォーラム)
- 大量出血を呈した胃過形成性ポリープの1例. (2016年4月 第102回日本消化器病学会総会 新宿)
- 当院における大腸ステント留置術の検討. (2015年9月 第336回日本消化器病学会関東支部会 東京) **優秀演題賞**
- 内視鏡下整復が可能であった青年期特発性腸重積症の一例. (2015年5月 第89回日本消化器内視鏡学会総会)
- 内視鏡検査で早期診断し、ステントグラフト内挿術により救命しえた大動脈腸管瘻の1例. (2014年12月 第332回日本消化器病学会関東支部例会 東京)
- 当院における大動脈消化管瘻5例の検討. (2014年10月 第88回日本消化器内視鏡学会総会)
- 脾実質内虚血を伴った脾動静脈奇形に対し動脈塞栓術が有効であった一例. (2013年 9月第326回日本消化器病学会関東支部例会 東京) **最優秀演題賞授賞**



# 当直・オンコール・休み

- 当直 3-4回/月
- オンコール 8回/月 (平均緊急内視鏡施行回数:7.2回/月)
- 月1-2回は完全休養日あり(出勤必要な休日  
も病棟回診のみ)
- 病棟はチーム制(担当患者は20人前後)であり、夜間も内科当直対応となるため、夜間/休み中の呼び出しはなし
- 夏・冬に1週間の長期休暇あり

# 当院消化管チームの特徴

- ・ スタッフの数が少ないため十分量の症例がある
- ・ 緊急内視鏡・ESD・ステント・拡張など消化管内視鏡医として必須手技を早い学年からしっかり身につけられる
- ・ 学会発表など自分のやりたいことを積極的に発表していける



皆さんと働けることを楽しみにしています